つなげよう！
子どもたちの
育ちと学びを

保幼小接続期における「学びのめやす」ご活用ください！！

宗像市教育委員会
（教育子ども部子ども育成課）

市では、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図り、幼児がスムーズに小学校に入学できるように、また心・体・学びの土台が築けるように、特に保幼小の接続期（年長児～小学１年生）を中心に「宗像の子どもたちをここまで育てよう」という「学びのめやす」を作成しました。

「学びのめやす」の見方は、裏面に解説しています。ぜひご活用ください。

保育所・幼稚園では、

- ○ 就学前までにここまで育てるという到達目標として
- ○ 子どもたち一人ひとりがそれぞれの項目を身に付けているか確認のため
- ○ 子どもの発達段階を飛び越えていたり、無理をさせていないか、保育士・教員の先生自身が自らの指導内容や方法を振り返るため

小学校では、

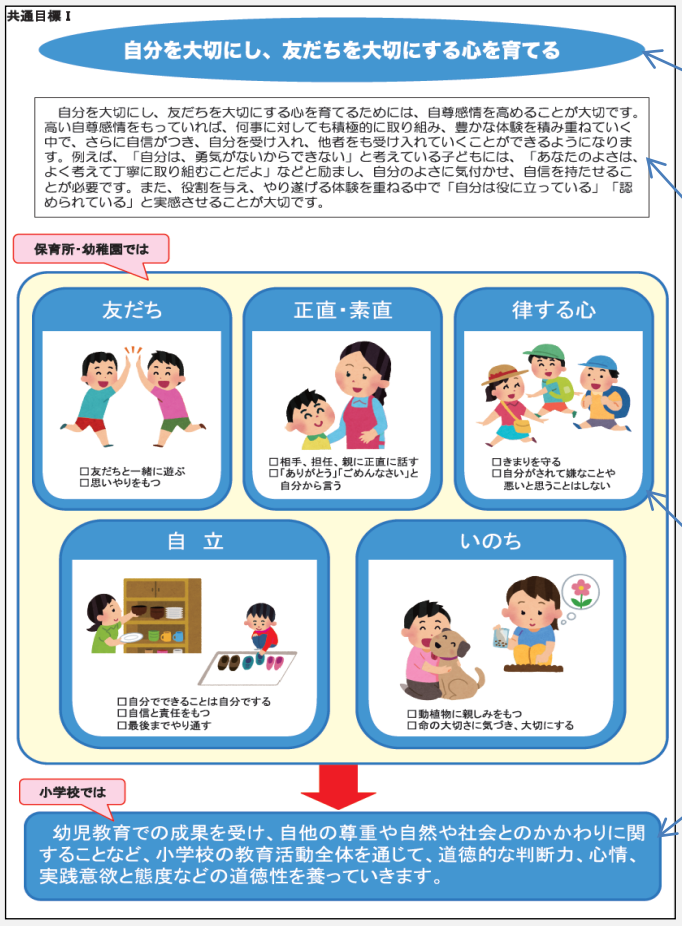
- ○ 保育所・幼稚園で育んできた内容を理解し、その成果をしっかり引き継いで、子どもたちに声掛けや指導をしているか、教員の先生自身が自ら振り返るため
- ○ 子どもたち一人ひとりのできていること、できていないことを把握するため
- ○ できていることはさらに定着をめざし、できていないことは、保育所・幼稚園や家庭と連携して重点的に指導するため

【家庭向けパンフレット】

家庭向けパンフ「スムーズな小学校入学に向けて」（水色）は、夏休み前までに、市内の保育所・幼稚園を通じて年長児の家庭に配布しています。また、2月の小学校入学説明会のときにも新1年生の全児童分を配布しています。

保育士・教員向けパンフ「保幼小接続期における学びのめやす」（黄色）は、保幼小の研修会はもちろん、今後、宗像市内に赴任された保育士・教員の先生や年長児・1年生の担任の先生に毎年配布します。

【保育士・教員向けパンフレット】



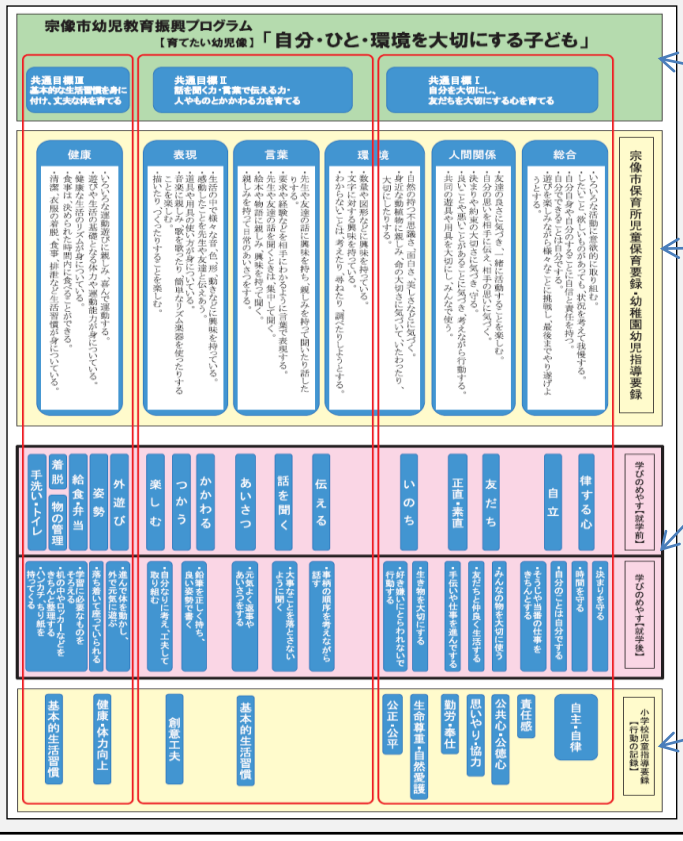
宗像市幼児教育振興プログラムでめざす、共通目標です。共通目標は３つあり、２～４ページにそれぞれ示しています。

各共通目標を達成するために、大切なことや具体的にどのように子どもに接していけばよいかを説明しています。

保育所・幼稚園において、幼児を「ここまで育てよう」というめやすを示しています。この内容は、幼児教育研究協議会や学びのめやすワーキング会議などにおいて、実際に子どもを保育・教育している先生方と熟議し、分かりやすいように、言葉１つひとつを大切にして作成しています。

子どもたちの成長や発達には、個人差が当然ありますので、この内容をめやすにして、子どもたちを褒めたり、認めたりしながら育んでください。

保育所・幼稚園での保育・幼児教育の成果を受け、小学校では、どんなふうに心や体、学びを育んでいくかを示しています。



宗像市幼児教育振興プログラムの「育てたい幼児像」と３つの共通目標を示しています。

宗像市で統一している宗像市保育所児童保育要録・幼稚園幼児指導要録の６つの観点と評価項目を示しています。表記の順序は３つの共通目標に合わせています。

学びのめやす【就学前】には観点を示し、具体的な内容は、２～４ページに示しています。

【就学後】については、小学校児童指導要録の行動の記録やあゆみの生活の記録の具体的な評価の内容等、就学後に身に付けるべきことを示しています。

小学校児童指導要録の行動の記録やあゆみの生活の記録の観点を示しています。上記の【就学後】の内容とつながっています。

「学びのめやす」は、ワーキング会議（保育所・幼稚園の4名、小学校の4名、指導主事、社会教育主事の2名）で原案を作成しました。その後、市の教育委員会、幼児教育審議会（大学教授などの有識者や保護者代表など）、幼児教育研究協議会（保育所・幼稚園の園長や小学校校長など）、市内の全保育所・幼稚園園長と小学校の校長を対象とする保幼小連絡会でも協議した上で、宗像市が独自に作成したものです。今後、宗像市では、保育参観や研修会等の様々な機会を通じて「学びのめやす」の活用の定着を図っていきたいと考えています。また、保育所、幼稚園、小学校の園内・校内の研修会等でも、積極的な活用をお願いいたします。